

# 2011年3月期 決算説明会

2011年5月12日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

代表取締役社長 山下 正弘



# 目次

## ■2011年3月期(連結)決算の概況

## ■2011年度の取り組みについて

○中期経営計画「HOPE100－ステージ1－」の進捗状況

## ■2012年3月期(連結)業績予想

## ■研究開発パイプラインの状況

○2010年度の進捗状況と2011年度の取り組み

# 2011年3月期（連結）決算の概観

(単位:億円)	10年3月期 実績	11年3月期		対前年 増減	前年同期比
		予想	実績		
売上高	998	1,018	1,041	+43	4.3%増
営業利益	133	147	164	+31	24.0%増
経常利益	142	153	171	+29	20.2%増
当期純利益	88	97	109	+21	23.5%増

業績予想を上回り、7期連続の増収、2期連続の増益(過去最高)となりました。

# セグメント別売上高の増減(連結)

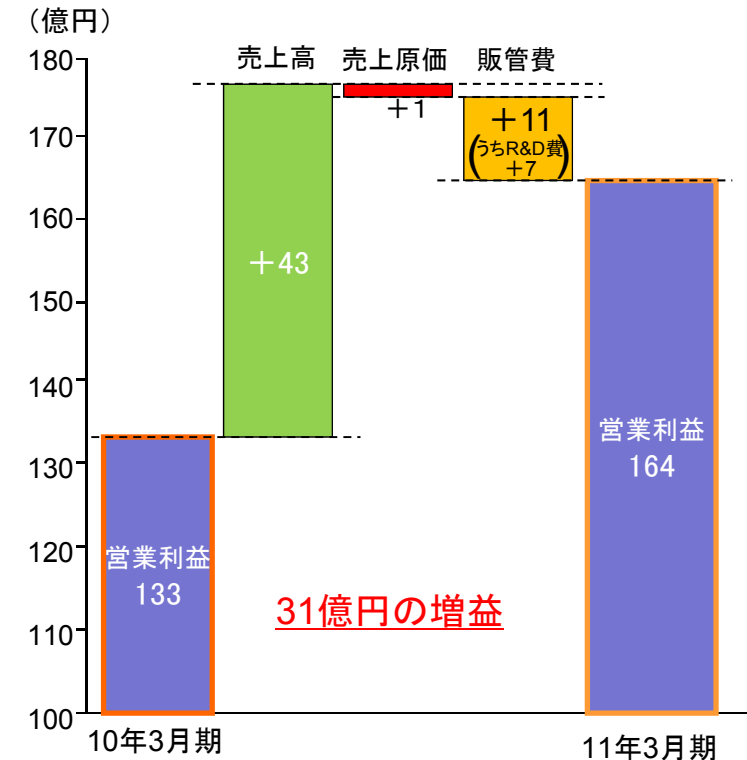
(単位:億円)	10年3月期 実績	11年3月期		対前年 増減	前年同期比
		予想	実績		
売上高合計	998	1,018	1,041	+43	4.3%増
■医薬品事業	964	990	1,013	+49	5.0%増
◆新医薬品	824	863	880	+56	6.8%増
○国内	798	836	853	+55	6.9%増
○海外	26	27	27	+ 1	4.1%増
◆後発医薬品	86	85	89	+ 3	2.7%増
◆一般用医薬品他	54	41	44	△10	18.7%減
■ヘルスケア(スキンケア)事業	33	28	28	△ 5	16.3%減
【再掲】 ヘルスケア (スキンケア+ 一般用医薬品他)事業	87	69	72	△15	17.8%減

## 売上高増減のポイント

- 【国内新医薬品】 +55億円 ・薬価改定の影響を受けつつも、主要製品が好調に推移(キプレス、ウリス他)
- 【後発医薬品】 + 3億円 ・保険調剤薬局市場での販売が好調に推移(キョーリン リメディオの決算期変更:2010年3月期は14ヶ月が対象期間)
- 【一般用医薬品他】 △10億円 ・決算期変更によるキョーリンメディカルサプライ(旧(株)杏文堂)等の売上減  
(キョーリン メディカルサプライの決算期変更:2010年3月期は13ヶ月が対象期間)
- 【スキンケア】 △ 5億円 ・ドクタープログラムの売上減

# 損益の概要(連結)

(単位: 億円)	10年3月期 実績	11年3月期 実績	対前年 増減	前年同期比
売上高	998	1,041	+43	4.3%増
売上原価	375	376	+1	0.2%増
販売費及び一般管理費	490	501	+11	2.1%増
R&D費	118	125	+7	5.8%増
R&D費を除く販管費	372	376	+4	1.0%増
営業利益	133	164	+31	24.0%増
経常利益	142	171	+29	20.2%増
当期純利益	88	109	+21	23.5%増



## ポイント

### ○営業利益は31億円増加

#### ・売上総利益は42億円増加

売上は43億円増加したが、売上原価額は1億円の増加にとどまった。

売上原価率は1.5ポイント改善(37.6%→36.1%:原価率の低いウリスの売上増、キョーリン リメディオの原価率の低下など)

#### ・販売費及び一般管理費は11億円増加

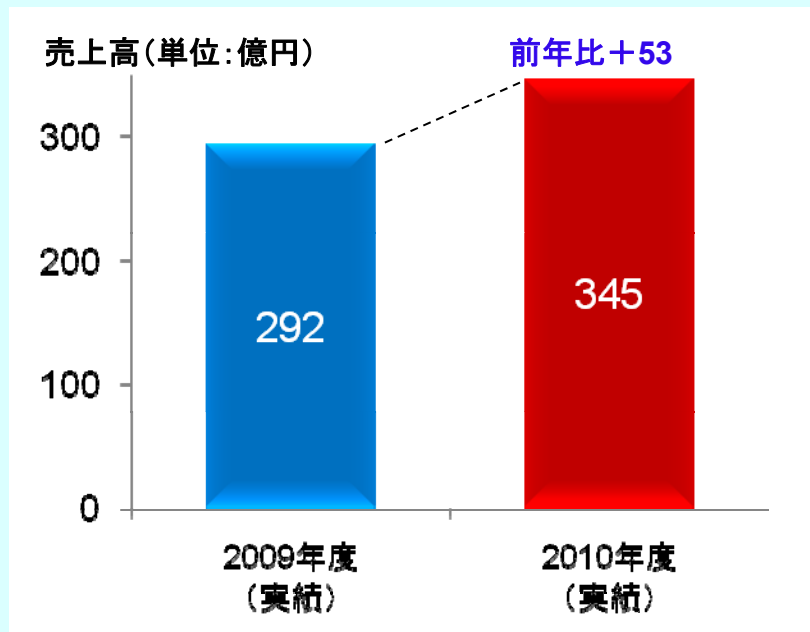
R&D費は7億円増(開発パイプラインの進展、導入一時金)、R&D費を除く販管費は4億円増(販管費率は1.2ポイント減)

# 主要製品売上高の増減

(単位:億円)	10年3月期 (実績)	11年3月期		対前年 増減	前年同期比
		予想	実績		
キプレス	292	322	345	+53	18.3%増
ムコダイン	209	218	213	+4	1.6%増
ペンタサ	194	195	194	+0	0.1%増
ウリトス	37	55	55	+18	48.4%増

# 【新薬群】 キプレス、ウリトス

## キプレス 【気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤】



### ■2010年度の状況

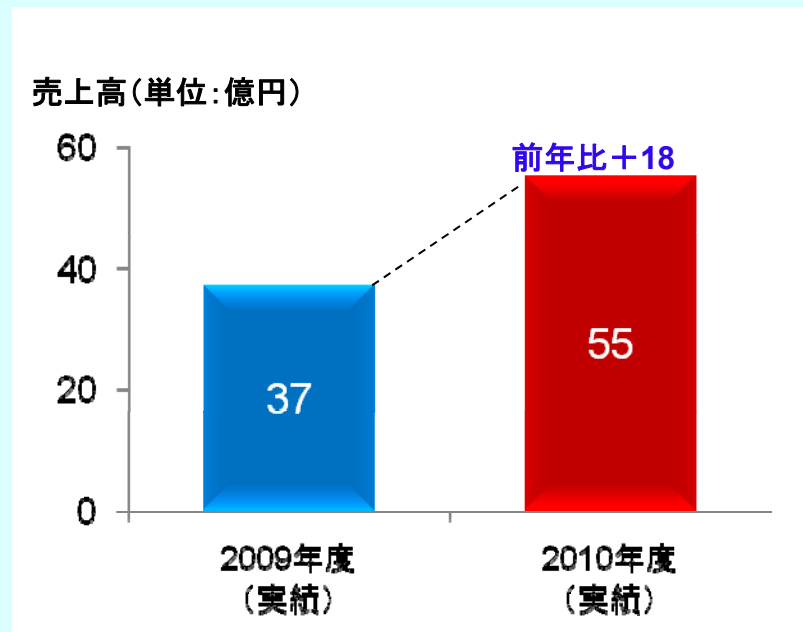
- アレルギー性鼻炎での処方増加
- 成人、小児喘息患者さんへの処方が更に浸透
- 細粒4mg、チュアブル錠5mgの採用・処方が促進
- LT拮抗剤におけるマーケットシェアの拡大

29.1%(2010年3月MAT) ⇒ 31.3%(2011年3月MAT)

(出典: IMSジャパン株式会社 JPM, 2010年3月/2011年3月MAT無断転載禁止)

※薬価改定率: △7.2%

## ウリトス 【過活動膀胱治療剤】



### ■2010年度の状況

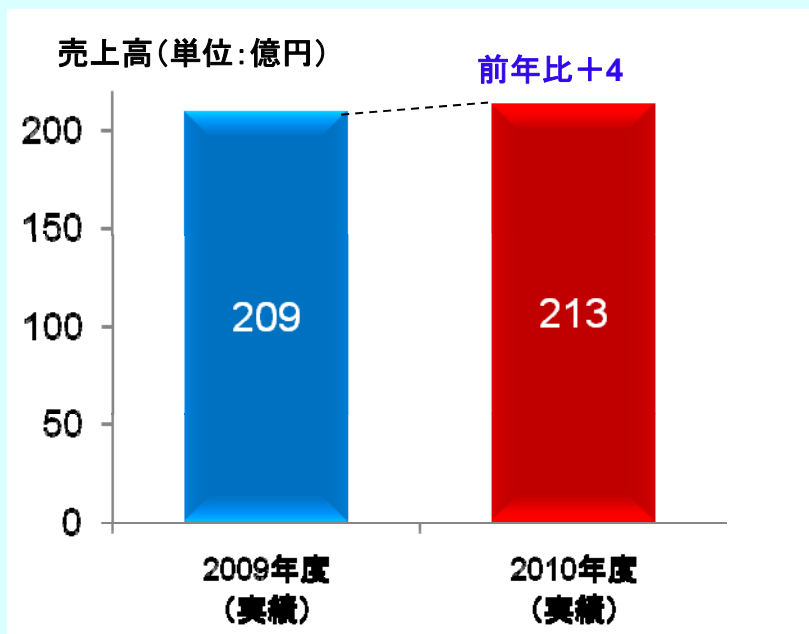
- 潜在市場の掘り起こし  
OAB市場: 570億円(2010年3月MAT) ⇒ 600億円(2011年3月MAT)
- 製品差別化とファーストチョイスでの処方提案
- OAB市場でのウリトスシェアの拡大  
7.5%(2010年3月MAT) ⇒ 9.3%(2011年3月MAT)  
[イミダフェナシンシェア15.5%(2010年3月MAT) ⇒ 19.3%(2011年3月MAT)]

(出典: IMSジャパン株式会社 JPM, 2010年3月/2011年3月MAT無断転載禁止)

※薬価改定率: △0.9%

# 【先発品群】 ムコダイン、ペンタサ

## ムコダイン【気道粘液調整・粘膜正常化剤】

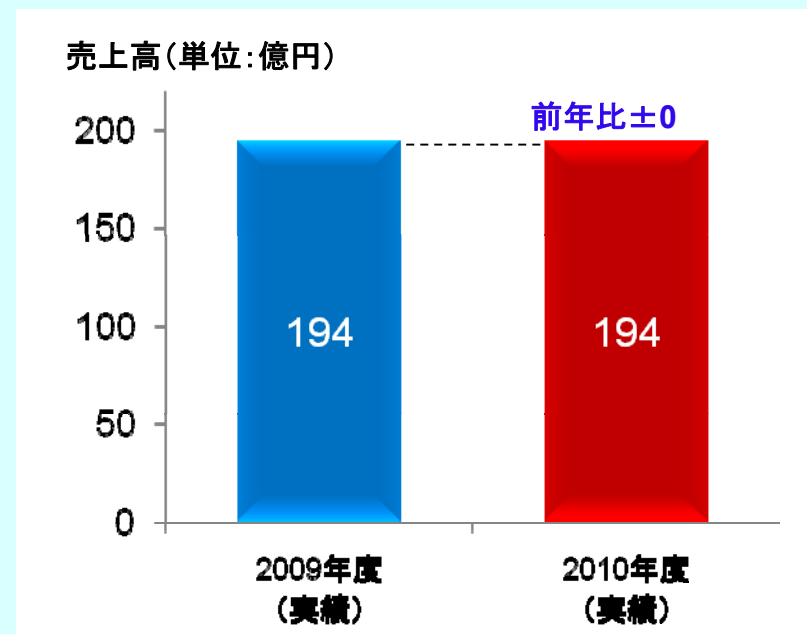


### ■2010年度の状況

- 新剤形「DS50%」  
:2010年度売上 約40億円(2010年5月発売)
- 慢性呼吸器疾患、慢性副鼻腔炎での処方拡大

※薬価改定率:△7.6%

## ペンタサ【潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤】

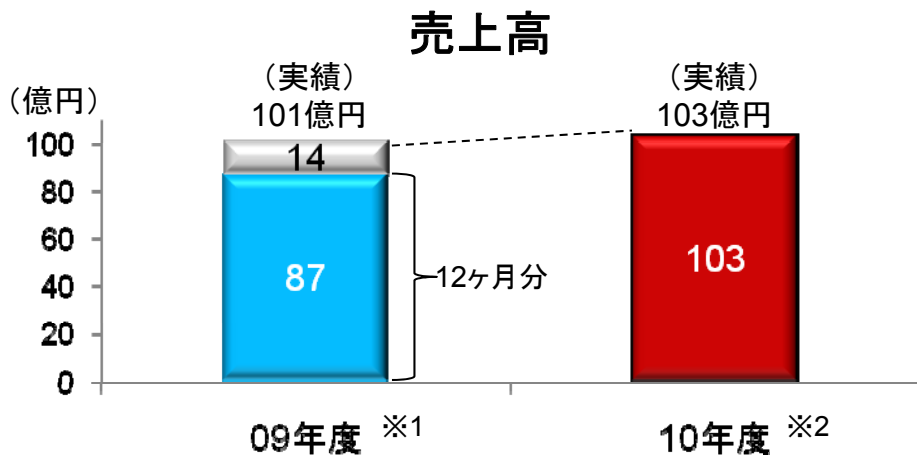


### ■2010年度の状況

- UCでの基準処方の確立
    - ・活動期4g処方が浸透
    - ・寛解導入,維持療法における注腸併用療法の普及
 ※UC:潰瘍性大腸炎
  - メサラジン製剤の市場拡大
    - ・メサラジン製剤の市場は約9%拡大
    - 2010年3月MAT:250億円 ⇒ 2011年3月MAT:280億円
    - (出典:IMSジャパン株式会社 JPM, 2010年3月/2011年3月MAT無断転載禁止)
- ※薬価改定率:△6.2%



# キョーリン リメディオの状況(後発品群)



※1 決算期を1月31日から3月31日へ変更(2010年3月期は、14ヶ月が対象期間)  
 ※2 卸店販売ルート of 杏林製薬への統合により初期在庫として約6億円を売上計上(9月)

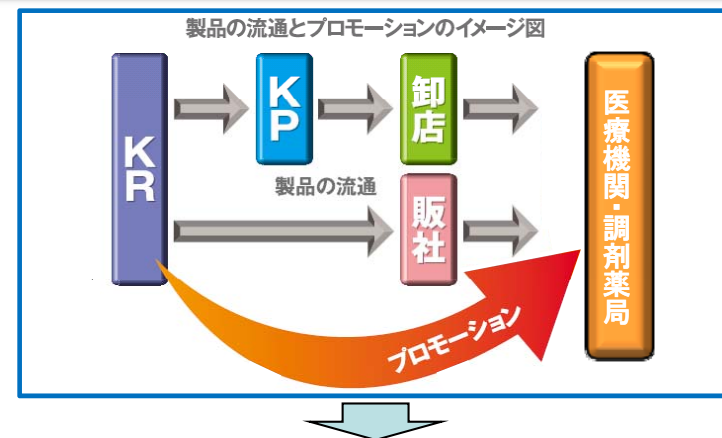
## 2010年度の状況

### 売上高100億円を12ヶ月で達成

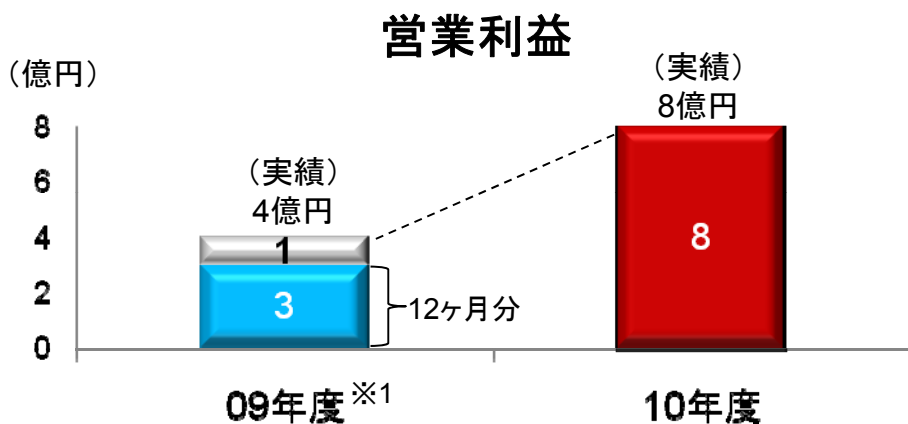
- 売上増加要因
  - ・保険調剤薬局市場での販売が好調に推移
- 利益増加要因
  - ・売上原価率が低下: 原材料費のコスト低減など

### 物流の統合

2010年10月1日よりキョーリン リメディオの卸店販売ルートを杏林製薬へ統合



- 卸店販売ルートにおけるGE薬の売上拡大
- 環境変化に応じた臨機応変な戦略の展開



※1 決算期を1月31日から3月31日へ変更(2010年3月期は、14ヶ月が対象期間)

## 2011年度の取り組み

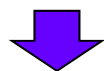
### ■ 中期経営計画「HOPE100－ステージ1－」の進捗状況

## マルチ・コア戦略(MC戦略)

－ 医薬品事業を中核とするヘルスケア事業の多核化 －

### 医薬品事業

ファーマ・コンプレックス・モデル  
(PCモデル)



複合的な事業展開  
(新薬群、先発品群、後発品群)

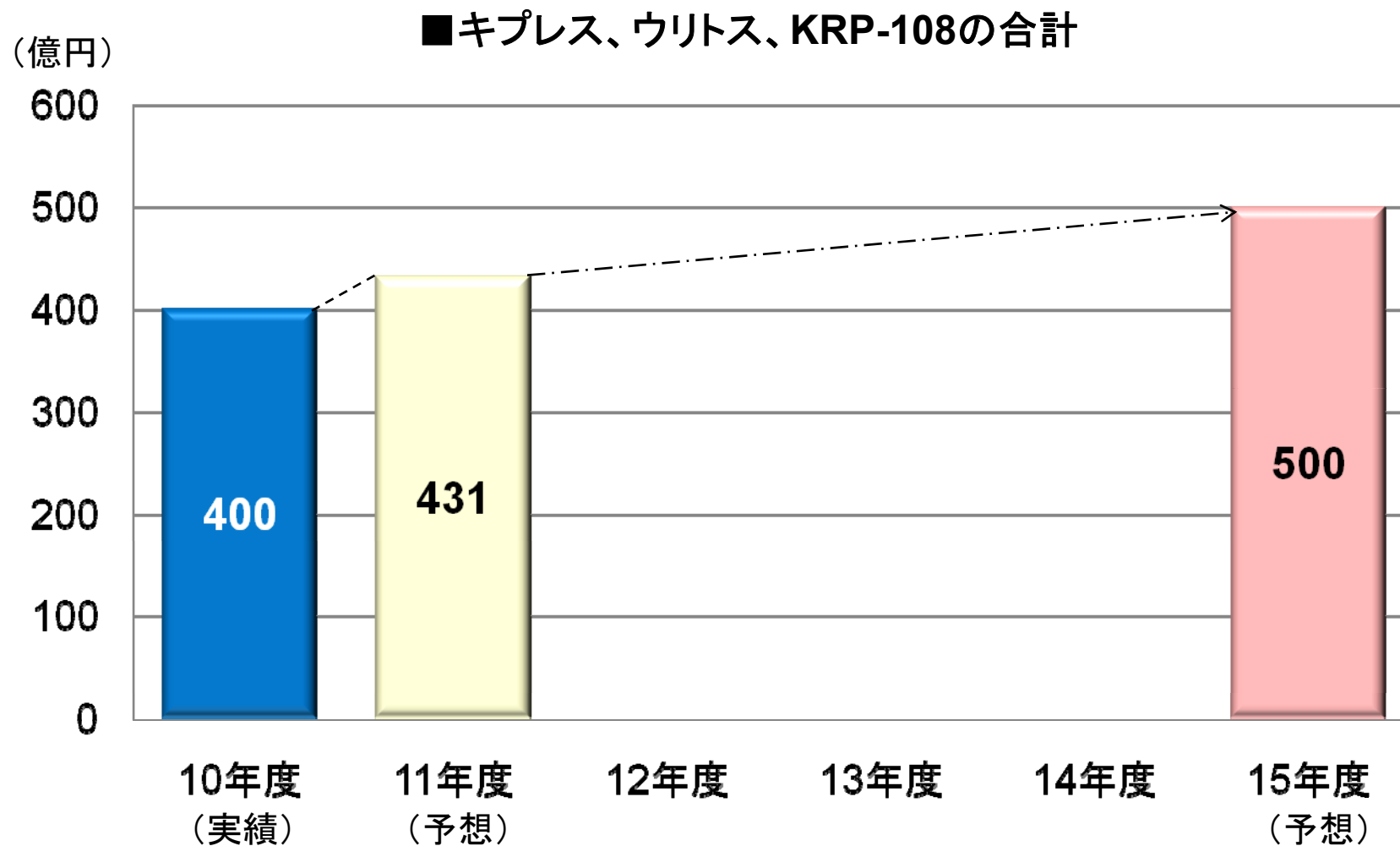
### ヘルスケア事業

既存事業の育成と新規事業の創出

環境変化に対応する複合的な事業展開により、持続成長を目指す。

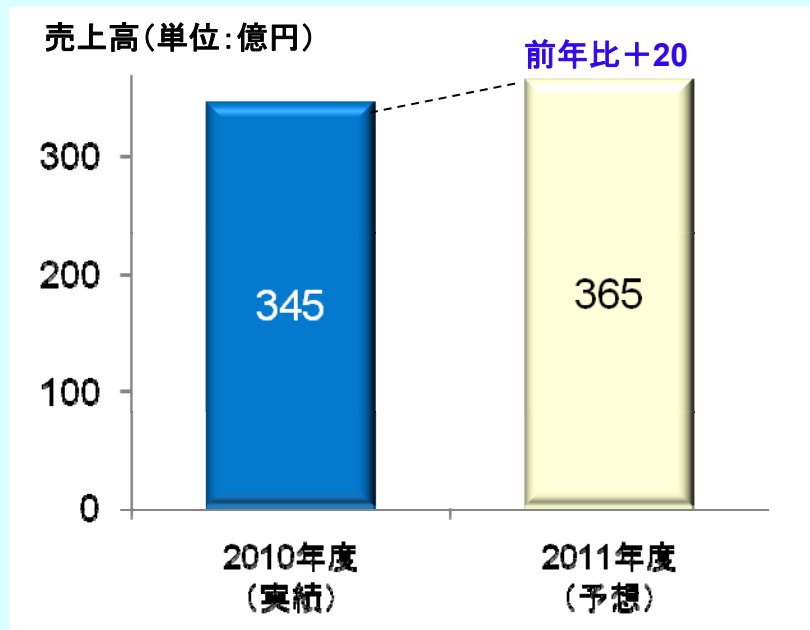
- **新薬群**: ○主要製品の普及の最大化を図る(キプレス、ウリトス)  
○開発パイプラインの強化を目指す
- **先発品群**: ○LCMにより重点品目の 価値の向上とライフサイクルの延長を図る  
(ムコダイン、ペンタサ)
- **後発品群**: ○グループ内での連携強化による特色あるジェネリック事業を推進する  
○国内外のアライアンス推進により、品揃え、原価低減を図る

# 新薬群の売上高目標



# 【新薬群】 キプレス、ウリトス

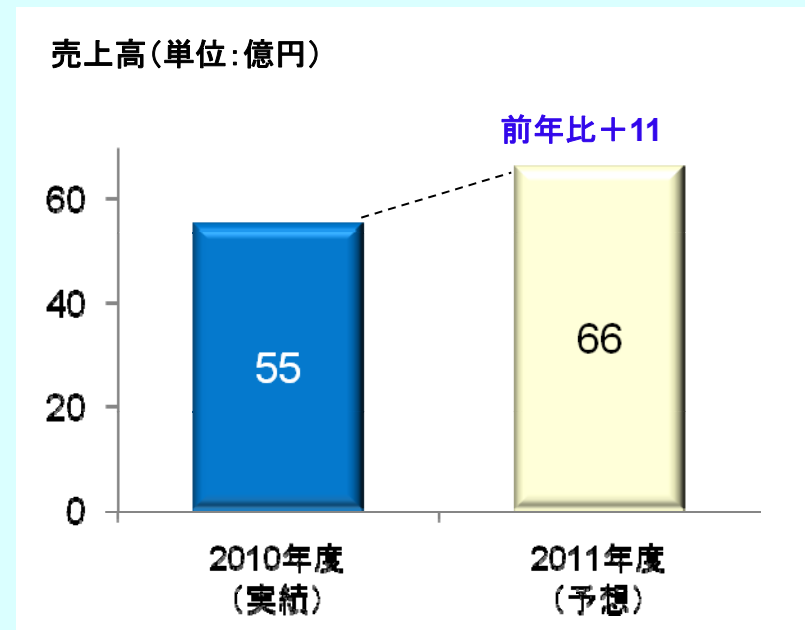
## キプレス 【気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤】



### ■2011年度の取り組み

- アレルギー性鼻炎のベース薬としてのポジショニング確立
  - ①アレルギー性鼻炎:慢性炎症性疾患としての啓発
  - ②エビデンスの構築
- 成人、小児喘息患者さんへの更なる処方促進

## ウリトス 【過活動膀胱治療剤】

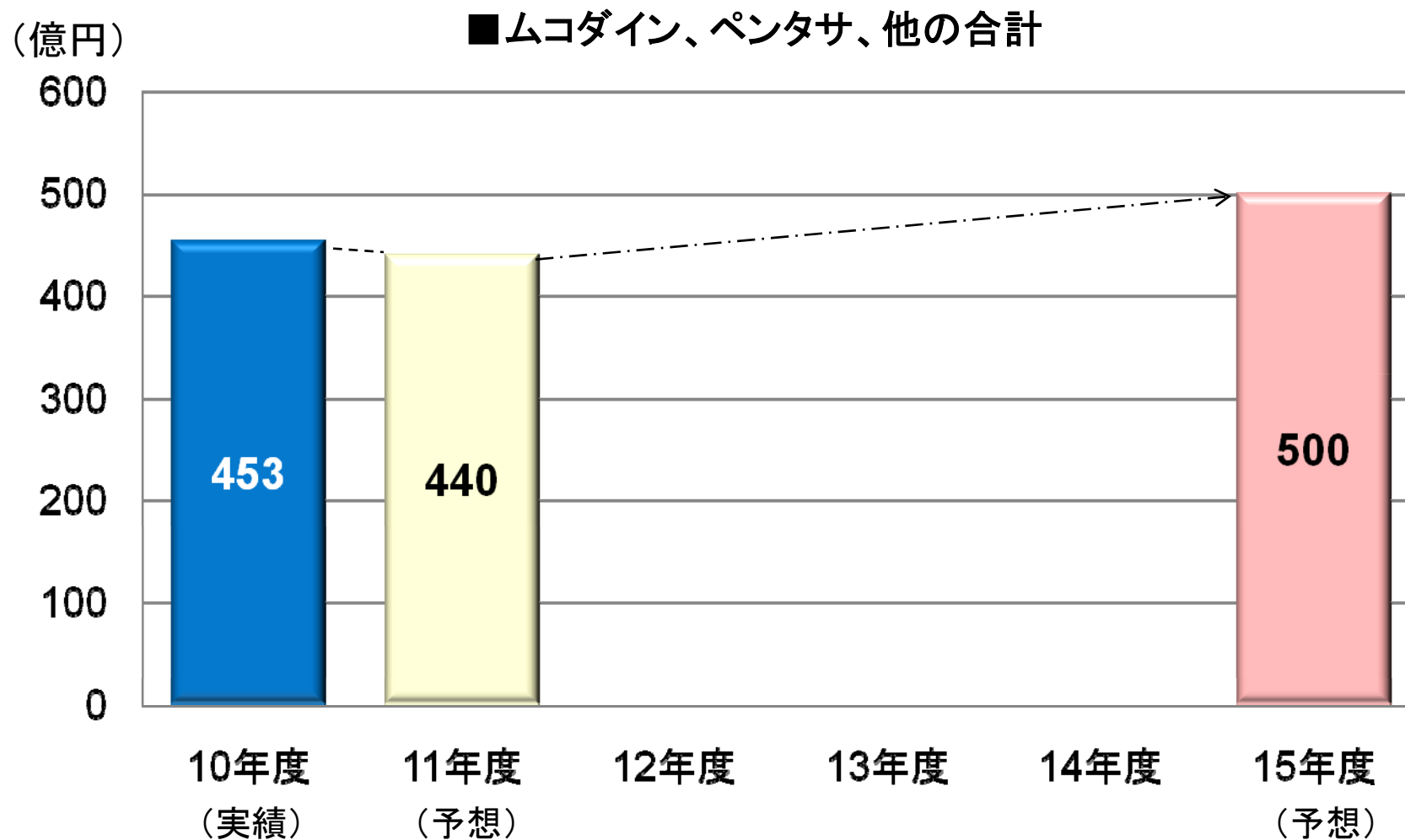


### ■2011年度の取り組み

- 潜在市場の掘り起こし  
OAB市場:570億円(2010年3月MAT)⇒600億円(2011年3月MAT)
- 新剤型(OD錠)の市場浸透によるファーストチョイスでの処方化

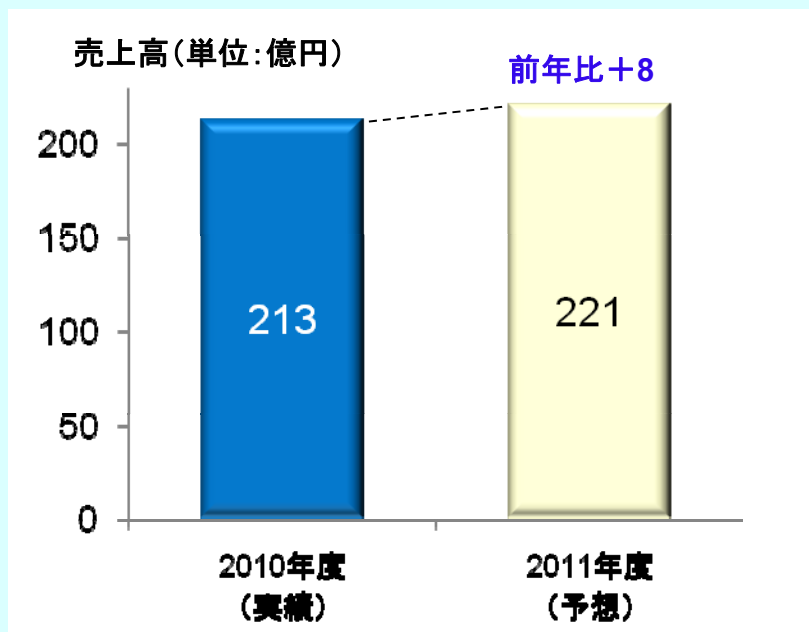
(出典:IMSジャパン株式会社 JPM, 2010年3月/2011年3月MAT無断転載禁止)

# 先発品群の売上高目標



# 【先発品群】 ムコダイン、ペンタサ

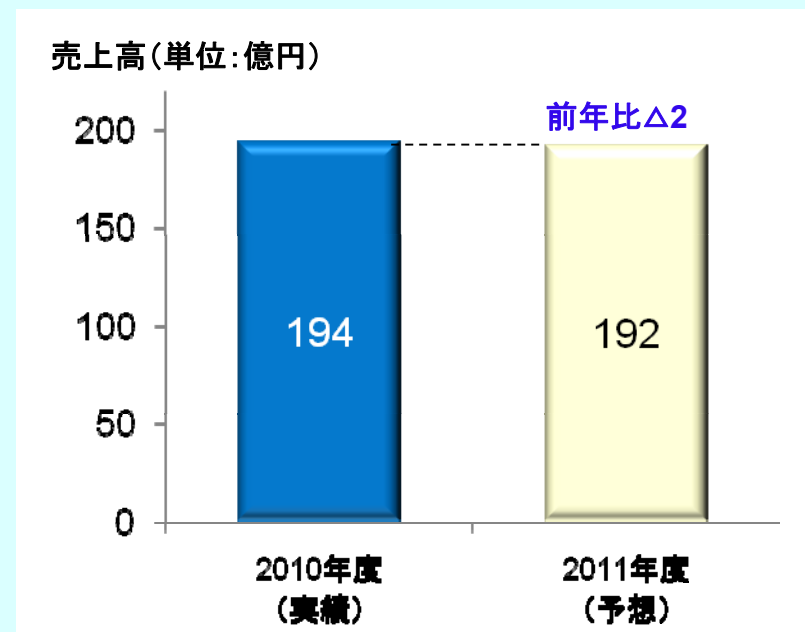
## ムコダイン【気道粘液調整・粘膜正常化剤】



### ■2011年度の取り組み

- 2010年度新発売した「DS50%」の普及  
(幅広い年齢層での処方)
- エビデンスデータ活用による慢性呼吸器疾患疾患、  
慢性副鼻腔炎への処方拡大

## ペンタサ【潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤】



### ■2011年度の取り組み

- UC での基準処方の定着化
  - ・活動期4g処方(幅広い用法・用量)
  - ・幅広い剤形によるニーズへの対応を訴求(250mg錠、500mg錠、注腸)
- 新剤型、新用法・用量での開発推進



## 特色あるジェネリック事業の推進

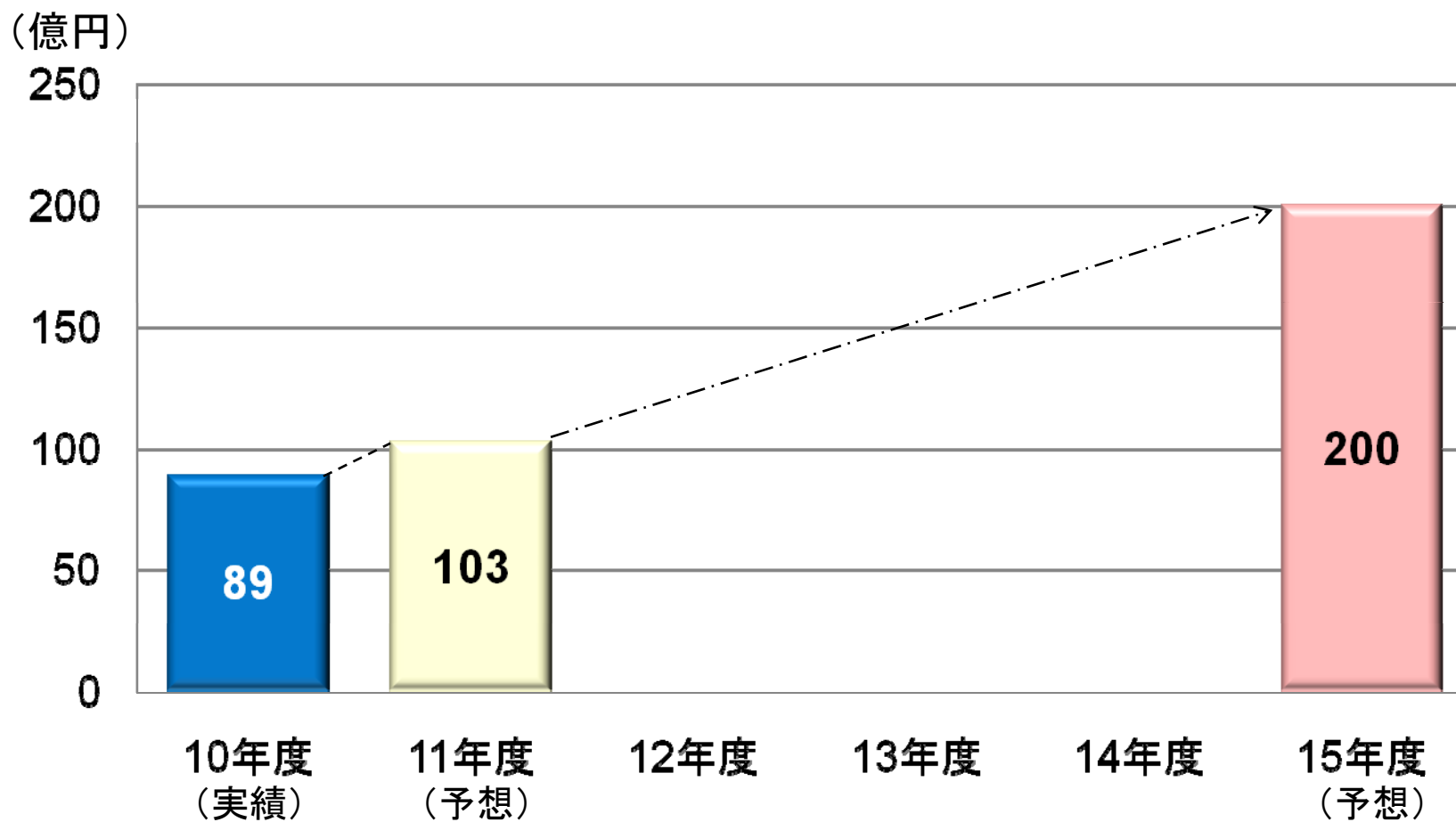
国内外アライアンス

感染症領域を  
重視した事業展開  
(品揃え)

品質確保  
安定供給  
原価の低減

グループ間での連携強化  
(新医薬品事業との機能再編含む)

# 後発品群の売上高目標



ヘルスケア事業の多核化を通じ、  
医薬品事業のリスク補完とグループの持続成長を図る。

- スキンケア事業** : 収益事業化と成長促進(含むアジア市場展開)
- ミルトン事業他** : ミルトンブランドを活用した新たな事業展開
- 新規事業の創出** : 企業理念を具現化し将来の核と期待される  
新規事業の創出を目指す

## ●環境衛生事業とは

健康や疾病の問題に、人間を取り巻く環境からアプローチし、人間に有害な影響を及ぼす環境を改善することによって人々の健康の維持・増進を図ることに関連する事業の総称。

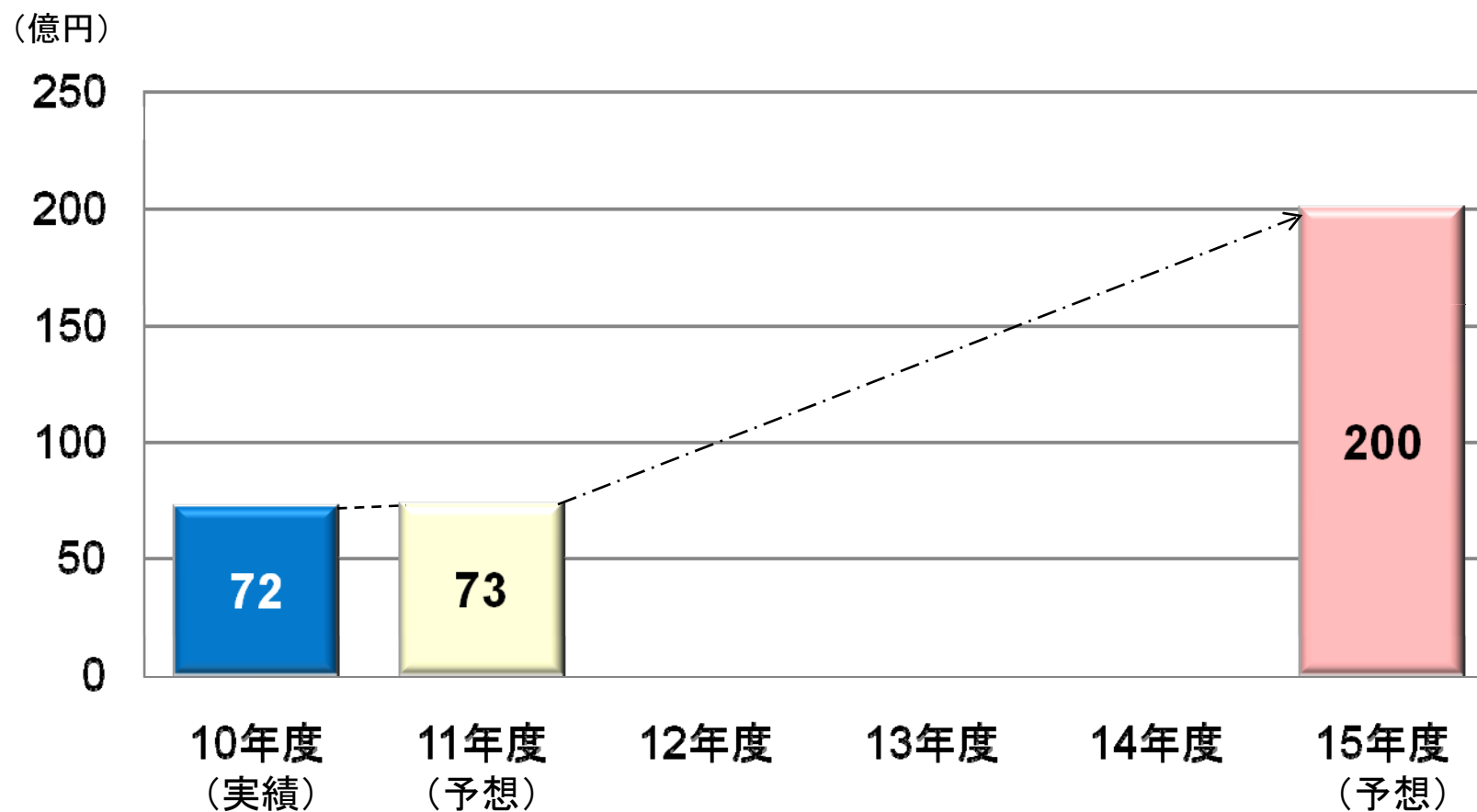
## ●キョーリンの考える環境衛生事業

当面は細菌やウイルスによる環境感染の制御に焦点をあてた事業展開を目指す。

## 米国デュポン社の製造する安定化二酸化塩素を用いた空間浄化システム及び関連製品の販売

- 製品名 :空間衛生機 ミルトンエアクリナー キョーリン  
ミルトンエアクリナーキョーリン 専用ゲル
- システム名 :クローブシステム
- 製品の特長 :クローブシステムによる高い除菌・消臭効果
- 販売 :キョーリン メディカルサプライ株式会社(旧(株)杏文堂)

# ヘルスケア(スキンケア+一般用医薬品他)事業の売上高目標



# 業績予想と配当について

# 2012年3月期 業績予想(連結)

8期連続の増収(最高売上高)、3期連続の増益(最高の営業利益)に挑戦します

(単位:億円)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (予想)	対前年増減	前年同期比
売上高合計	1,041	1,065	+24	2.3%増
■医薬品事業	1,013	1,035	+22	2.2%増
■ヘルスケア(スキンケア)事業	28	30	+ 2	7.3%増
営業利益	164	166	+ 2	1.0%増
経常利益	171	172	+ 1	0.5%増
当期純利益	109	109	0	0.2%減

## 売上高・営業利益増減のポイント

### 【売上高】

- 医薬品事業 [+22億円]
  - ◆ 国内新医薬品 +18億円 ・主要製品の売上増加を見込む
  - ◆ 海外新医薬品 △10億円 ・2011年の年央にザイマーのGE薬発売(米国)を見込む
  - ◆ 後発医薬品 +14億円 ・重点品、2010-2011年追補品による売上増を見込む
- ヘルスケア事業 [+ 2億円] ・ドクタープログラムの売上増を見込む

### 【営業利益】

- ・売上総利益は増加(売上増加と売上原価率の低減(売上原価率:前年同期比約1ポイント低下))
- ・R&D費は9億円増(125億円から134億円へ)(R&D費を含む販管費比率は前年同期比約1ポイント上昇)



# 2012年3月期 主要製品の売上予想

単位:億円

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (予想)	対前年 増減	前年同期比
キプレス	345	365	+20	5.9%増
ムコダイン	213	221	+ 8	3.9%増
ペンタサ	194	192	△ 2	1.1%減
ウリトス	55	66	+11	20.7%増

# 株主還元について

## 基本方針

成長のための投資、事業継続のための投資、株主還元をバランスよく実施し、経営基盤の強化を図ります。株主還元は配当性向30%を目処に実施します。

## 配当の推移

	2011年3月期 (予想)	2011年3月期 (修正予想)	2012年3月期 (予想)
1株当たり配当金(円)	35.00	45.00	45.00
連結配当性向(%)	27.0	30.8	30.9

## 当期純利益の推移

	2011年3月期 (予想)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (予想)
当期純利益(億円)	97	109	109

## 1. 損害状況

- ・能代工場(秋田県)、岡谷工場(長野県)において人的、物的被害はなく操業への影響はありません。
- ・研究所(栃木県野木町)において一部軽微な損傷がありました。

## 2. 震災に関連する直接的な費用

- ・2010年度実績及び2011年度予想は軽微です。

## 3. 被災地域における売上等への影響(2011年度予想)

- ・被災地域の売上シェアは2.5%程度です。

## 4. 今後の対応(生産関連)

- ・能代工場での設備投資を行い、全面的に自家発電方式に移行する予定です。

# 参考資料

# 2011年3月期 セグメント情報

## 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	1,041	43	164	+31
■医薬品事業 計	1,013	49	163	+31
◆新医薬品	880	56		
○国内	853	55		
○海外	27	1		
◆後発医薬品	89	3		
◆一般用医薬品他	44	△10		
■ヘルスケア事業 計	28	△5	1	+3
調整額	—	—	0	△3

# 2011年3月期業績と2012年3月期予想

(単位:百万円)	10年3月期	11年3月期			12年3月期	
	実績	実績	前年差額	前同比	予想	前同比
売上高	99,764	104,069	+4,304	4.3%	106,500	2.3%
■医薬品事業	96,422	101,271	+4,848	5.0%	103,500	2.2%
◆新医薬品	82,395	88,020	+5,624	6.8%	88,900	1.0%
○国内	79,766	85,284	+5,517	6.9%	87,100	2.1%
○海外	2,629	2,736	+ 107	4.1%	1,700	△37.9%
◆後発医薬品	8,642	8,871	+ 229	2.7%	10,300	16.1%
◆一般用医薬品他	5,384	4,378	△1,005	△18.7%	4,300	△ 1.8%
■ヘルスケア事業	3,342	2,797	△ 544	△16.3%	3,000	7.3%
営業利益	13,261	16,443	+3,181	24.0%	16,600	1.0%
経常利益	14,234	17,110	+2,875	20.2%	17,200	0.5%
当期純利益	8,848	10,927	+2,078	23.5%	10,900	△ 0.3%

# 主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	2010年3月期	2011年3月期
売上高	853	925
営業利益	131	156
当期純利益	95	107

2012年3月期(予想)
951
157
104

キョーリン リメディオ	2010年3月期	2011年3月期
売上高	101	103
営業利益	4	8
当期純利益	4	6

2012年3月期(予想)
110
7
7

ドクタープログラム	2010年3月期	2011年3月期
売上高	33	28
営業利益	△1	1
当期純利益	△1	1

2012年3月期(予想)
30
1
0

# 損益計算書の概要：連結①

(単位:百万円)	10年3月期		11年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	99,764	100.0%	104,069	100.0%	4.3%	+4,304
■医薬品事業	96,422	96.6%	101,271	97.3%	5.0%	+4,848
◆新医薬品	82,395	82.6%	88,020	84.6%	6.8%	+5,624
○国内	79,766	80.0%	85,284	81.9%	6.9%	+5,517
○海外	2,629	2.6%	2,736	2.6%	4.1%	+107
◆後発医薬品	8,642	8.7%	8,871	8.5%	2.7%	+229
◆一般用医薬品他	5,384	5.4%	4,378	4.2%	△18.7%	△1,005
■ヘルスケア事業	3,342	3.3%	2,797	2.7%	△16.3%	△544

## <当期のポイント>

	対前年
■売上高	104,069百万円 (+4,304百万円)
●国内新医薬品	85,284百万円 (+5,517百万円)
	[前期実績] [当期実績(億円)]
・キプレス	292 → 345 (+53)
・ムコダイン	209 → 213 (+4)
・ペンタサ	194 → 194 (+0)
・ウリトス	37 → 55 (+18)
●海外新医薬品	2,736百万円 (+107百万円)
・ガチフロキサシン	22 → 22 (0)
●後発医薬品	8,871百万円 (+229百万円)
	* 保険調剤薬局市場での販売が好調
●一般用医薬品他	4,378百万円 (△1,005百万円)
	* 主にキョーリンメディカルサプライ(旧:杏文堂)の売上減
●ヘルスケア	2,797百万円 (△544百万円)
・ドクタープログラム	33 → 28 (△5)

## <適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社7社：杏林製薬(株)  
 Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH  
 ActivX Biosciences, Inc.  
 キョーリンリメディオ(株)  
 ドクタープログラム(株)  
 キョーリンメディカルサプライ(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)



# 損益計算書の概要: 連結一②

(単位:百万円)	10年3月期		11年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	99,764	100.0%	104,069	100.0%	4.3%	+ 4,304
売上原価	37,477	37.6%	37,554	36.1%	0.2%	+ 76
売上総利益	62,287	62.4%	66,514	63.9%	6.8%	+ 4,227
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	49,025 (11,807)	49.1% 11.8%	50,071 (12,495)	48.1% 12.0%	2.1% 5.8%	+ 1,046 (+ 688)
営業利益	13,261	13.3%	16,443	15.8%	24.0%	+ 3,181
営業外収益	1,092	1.1%	769	0.7%	△ 29.6%	△ 323
営業外費用	120	0.1%	102	0.1%	△ 14.9%	△ 17
経常利益	14,234	14.3%	17,110	16.4%	20.2%	+ 2,875
特別利益	49	0.0%	141	0.1%	189.0%	+ 92
特別損失	301	0.3%	115	0.1%	△ 61.8%	△ 186
税金等調整前 当期純利益	13,982	14.0%	17,136	16.5%	22.6%	+ 3,154
法人税・住民税 及び事業税	5,518	5.5%	5,944	5.7%	7.7%	+ 425
法人税等調整額	△385	△0.4%	265	0.3%	△168.9%	+ 650
少数株主損益調整前 当期純利益	—	—	10,927	10.5%	—	+10,927
当期純利益	8,848	8.9%	10,927	10.5%	23.5%	+ 2,078

## <当期のポイント>

## 対前年

◆原価率：前年比1.5ポイント低下 (37.6%⇒36.1%)

\* 上昇要因: 薬価改定(6%台)

\* 低下要因: 原価率の低い自社製品の売上増加、キョーリン リメディオの原価率低下

◆研究開発費率：前年比0.2ポイント上昇

\* 118億円⇒125億円(約7億円増加) (11.8%⇒12.0%)

◆販管費率(除R&D費)：前年比1.2ポイント低下

\* 372億円⇒376億円(約4億円増加) (37.3%⇒36.1%)

\* 販管費(除R&D費)は増加したものの、売上増加により販管費率(除R&D)は1.2ポイント低下

■営業利益 164億円

◆営業利益率は15.8%と2.5ポイント上昇

■当期純利益 109億円

■配当 45円00銭

# 貸借対照表の概要：連結

(単位:百万円)	10年3月期	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	<b>91,060</b>	<b>66.4%</b>
現金および預金	20,193	
受取手形及び売掛金	36,859	
有価証券	5,353	—
棚卸資産	21,874	
その他流動資産	6,779	
<b>固定資産</b>	<b>46,129</b>	<b>33.6%</b>
有形固定資産	15,825	
無形固定資産	1,024	—
投資その他	29,278	
<b>資産合計</b>	<b>137,190</b>	<b>100.0%</b>

<b>流動負債</b>	<b>26,198</b>	<b>19.1%</b>
支払手形及び買掛金	9,858	—
その他流動負債	16,340	
<b>固定負債</b>	<b>6,079</b>	<b>4.4%</b>
<b>負債合計</b>	<b>32,278</b>	<b>23.5%</b>
<b>株主資本</b>	<b>104,907</b>	<b>76.5%</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>3</b>	<b>0.0%</b>
その他有価証券評価差額金	138	
為替換算調整勘定	△134	
<b>純資産合計</b>	<b>104,911</b>	<b>76.5%</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>137,190</b>	<b>100.0%</b>

11年3月期		
実績	構成比	前期末増減
<b>104,427</b>	<b>70.9%</b>	<b>13,366</b>
25,518		
42,594		
6,976	—	—
20,364		
8,973		
42,806	29.1%	△3,322
14,916		
816	—	—
27,073		
147,234	100.0%	10,044

30,421	20.7%	4,223
10,852		
19,569	—	—
5,105	3.5%	△ 974
35,527	24.1%	3,249
112,076	76.1%	7,168
△370	△0.3%	△ 373
△137		
△232		
111,706	75.9%	6,795
147,234	100.0%	10,044

## <当期のポイント>

- 流動資産： 13,366百万円増
  - ・現金、預金の増加 (5,324百万円増)
  - ・受取手形、売掛金の増加 (5,734百万円増)
  - ・棚卸資産の減少 (1,509百万円減)
- 固定資産： 3,322百万円減
  - ・有形固定資産の減少 ( 909百万円減)
  - ・無形固定資産の減少 ( 207百万円減)
  - ・投資その他の減少 (2,205百万円減)

- 流動負債： 4,223百万円増
  - ・支払手形、買掛金の増加 ( 993百万円増)
  - ・その他流動負債の増加 (3,229百万円増)
- 固定負債： 974百万円減

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>

(単位:百万円)	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期		12年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	8,609	10,826	10,531	11,807	12,495	5.8%	13,400
設備投資	2,954	1,952	1,612	1,291	1,668	29.2%	2,500
減価償却費	4,544	4,536	3,799	2,810	2,458	△12.5%	2,700

## <設備投資の状況(実績/予想)>

(実績)

工場設備

管理・販売設備

研究用設備

11年3月期実績

9億円

3億円

5億円

12年3月期予想

(予想)

工場設備

管理・販売設備

研究用設備

13億円

7億円

5億円

# 2011年3月期 主要製品売上の状況

(単位: 億円)

		07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期		12年3月期 (予想)
						実績	前 同 比	
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	150	191	252	292	345	18.3%	365
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	204	212	206	209	213	1.7%	221
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	80	88	157	194	194	0.1%	192
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	—	7	20	37	55	48.4%	66
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	58	54	50	46	40	△13.1%	38
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	32	30	25	22	22	0.2%	12
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	21	19	18	19	19	1.5%	20

# 主な業績項目の推移: 連結

(単位: 百万円)	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期 (予想)
売上高 (輸出高)	77,093 (5,762)	81,070 (4,367)	90,889 (3,830)	99,764 (2,693)	104,069 (2,784)	106,500 (1,700)
売上原価 (売上原価率)%	30,620 (39.7%)	31,757 (39.2%)	36,791 (40.5%)	37,477 (37.6%)	37,554 (36.1%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	38,059 (49.4%)	43,061 (53.1%)	45,146 (49.7%)	49,025 (49.1%)	50,071 (48.1%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率)%	8,609 (11.2%)	10,826 (13.4%)	10,531 (11.6%)	11,807 (11.8%)	12,495 (12.0%)	13,400 (12.6%)
営業利益 (営業利益率)%	8,413 (10.9%)	6,251 (7.7%)	8,952 (9.8%)	13,261 (13.3%)	16,443 (15.8%)	16,600 (15.6%)
経常利益 (経常利益率)%	8,655 (11.2%)	6,643 (8.2%)	9,208 (10.1%)	14,234 (14.3%)	17,110 (16.4%)	17,200 (16.1%)
当期純利益 (当期純利益率)%	4,842 (6.3%)	2,189 (2.7%)	2,037 (2.2%)	8,848 (8.9%)	10,927 (10.5%)	10,900 (10.2%)
一株当たり当期利益(円)	64.97円	29.26円	27.24円	118.37円	146.21円	145.86
資本金	700	700	700	700	700	
総資産	124,039	122,398	124,552	137,190	147,234	
株主資本	96,922	96,401	97,513	104,907	112,076	
純資産	98,178	97,184	96,501	104,911	111,706	
一株当たり純資産(円)	1,311.17円	1,298.89円	1,290.67円	1,403.60円	1,494.83円	
自己資本利益率%	5.0%	2.2%	2.1%	8.8%	10.1%	
自己資本比率%	79.2%	79.4%	77.5%	76.5%	75.9%	
人員(人)	1,932人	2,003人	2,247人	2,246人	2,294人	
設備投資	2,954	1,952	1,612	1,291	1,668	2,500
減価償却費	4,544	4,536	3,799	2,810	2,458	2,700

# 損益計算書の概要: 杏林製薬単体①

(単位:百万円)	10年3月期		11年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	85,308	100.0%	92,531	100.0%	8.5%	+7,222
■医薬品事業	85,308	100.0%	92,531	100.0%	8.5%	+7,222
◆新医薬品	82,330	96.5%	87,927	95.0%	6.8%	+5,596
○国内	79,766	93.5%	85,284	92.2%	6.9%	+5,517
○海外	2,563	3.0%	2,642	2.8%	3.1%	+ 79
◆後発医薬品	394	0.5%	1,932	2.1%	389.7%	+1,537
◆一般用医薬品他	2,583	3.0%	2,671	2.9%	3.4%	+ 88

## <当期のポイント>

## 対前年

- 売上高 92,531百万円 (+7,222百万円)
- 国内新医薬品 85,284百万円 (+5,517百万円)  
10.3実績 11.3実績(億円)
  - ・ キプレス 292 → 345 (+53)
  - ・ ムコダイン 209 → 213 (+ 4)
  - ・ ペンタサ 210 → 194 ( 0)
  - ・ ウリトス 37 → 55 (+18)
- 海外新医薬品 2,642百万円 (+ 79百万円)
  - ・ ガチフロキサシン 22 → 22 ( 0)
  - ・ 導出一時金
- 後発医薬品 1,932百万円 (+1,537百万円)
  - ・ 主にキョーリンマテリアル物流統合による影響
- 一般用医薬品他 2,671百万円 (+ 88百万円)
  - ・ ミルトンおよびOTCの増加

# 損益計算書の概要: 杏林製薬単体②

(単位:百万円)	10年3月期		11年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	85,308	100.0%	92,531	100.0%	8.5%	+7,222
売上原価	28,374	33.3%	31,227	33.7%	10.1%	+2,852
売上総利益	56,934	66.7%	61,304	66.3%	7.7%	+4,369
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	43,795 (11,121)	51.3% (13.0%)	45,658 (11,867)	49.3% (12.8%)	4.3% (6.7%)	+1,863 + 746
営業利益	13,139	15.4%	15,645	16.9%	19.1%	+2,506
営業外収益	1,497	1.8%	1,138	1.2%	△ 24.0%	△ 359
営業外費用	56	0.1%	54	0.1%	△ 4.5%	△ 2
経常利益	14,580	17.1%	16,729	18.1%	14.7%	+2,149
特別利益	37	0.0%	127	0.1%	236.3%	+ 89
特別損失	112	0.1%	80	0.1%	△ 28.4%	△ 32
税引前当期純利益	14,506	17.0%	16,776	18.1%	15.7%	+2,270
法人税・住民税 及び事業税	5,452	6.4%	5,856	6.3%	7.4%	+ 403
法人税等調整額	△419	△0.5%	187	0.2%	△144.8%	+ 607
当期純利益	9,472	11.1%	10,732	11.6%	13.3%	+1,259

## <当期のポイント>

## 対前年

◆原価率：前年比0.4ポイント増加 (33.3%⇒33.7%)

\* 上昇要因: 薬価改定(6%台)

\* 低下要因: 原価率の低い自社製品の売上増加

◆研究開発費率: 前年比0.2ポイント減少

(13.0%⇒12.8%)

\* 111億円⇒119億円(7億円増加)

◆販管費率(除R&D費): 前年比1.8ポイント減少

(38.3%⇒36.5%)

\* 327億円⇒338億円(約11億円増加)

■営業利益 156億円

◆営業利益率は16.9%と1.5ポイント上昇

■当期純利益 107億円

# 貸借対照表の概要：杏林製薬単体

(単位:百万円)	10年3月期	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	<b>78,422</b>	<b>65.4%</b>
現金および預金	15,313	
売掛金	33,088	
有価証券	5,290	—
棚卸資産	19,147	
その他流動資産	5,581	
<b>固定資産</b>	<b>41,400</b>	<b>34.6%</b>
有形固定資産	12,847	
無形固定資産	328	—
投資その他	28,225	
<b>資産合計</b>	<b>119,822</b>	<b>100.0%</b>

11年3月期		
実績	構成比	前期末増減
<b>84,458</b>	<b>68.9%</b>	<b>6,036</b>
15,123		
39,184		
6,913	—	—
16,739		
6,498		
<b>38,202</b>	<b>31.1%</b>	<b>△3,197</b>
11,894		
235	—	—
26,073		
<b>122,661</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,838</b>

<b>流動負債</b>	<b>19,003</b>	<b>15.9%</b>
支払手形及び買掛金	6,849	
その他流動負債	12,154	—
<b>固定負債</b>	<b>5,312</b>	<b>4.4%</b>
<b>負債合計</b>	<b>24,316</b>	<b>20.3%</b>
<b>株主資本</b>	<b>95,384</b>	<b>79.6%</b>
評価・換算差額等	120	0.1%
<b>純資産合計</b>	<b>95,505</b>	<b>79.7%</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>119,822</b>	<b>100.0%</b>

<b>22,723</b>	<b>18.5%</b>	<b>3,719</b>
7,050		
15,673	—	—
<b>4,364</b>	<b>3.6%</b>	<b>△ 948</b>
<b>27,087</b>	<b>22.1%</b>	<b>2,771</b>
<b>95,719</b>	<b>78.0%</b>	<b>335</b>
△146	△0.1%	△ 267
<b>95,573</b>	<b>77.9%</b>	<b>67</b>
<b>122,661</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,838</b>

## <当期のポイント>

■ 流動資産： 6,036百万円増  
 ・売掛金の増加 (6,095百万円増)  
 ・有価証券の増加 (1,622百万円増)  
 ・棚卸資産の減少 (2,408百万円減)

■ 固定資産： 3,197万円減  
 ・有形固定資産の減少 (952百万円減)  
 ・投資その他の減少 (2,151百万円減)

■ 流動負債： 3,719百万円増  
 ・支払手形及び買掛金の増加 (201百万円増)  
 ・その他流動負債の増加 (3,518百万円増)

■ 固定負債： 948百万円減



# 主な業績項目の推移: 杏林製薬単体

(単位: 百万円)	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期 (予想)
売上高 (輸出高)	66,052 (5,521)	70,480 (4,155)	77,962 (3,148)	85,308 (2,563)	92,531 (2,642)	95,100 (1,600)
売上原価 (売上原価率) %	23,815 (36.1%)	25,217 (35.8%)	29,551 (37.9%)	28,374 (33.3%)	31,227 (33.7%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率) %	34,623 (52.4%)	38,319 (54.4%)	39,894 (51.2%)	43,795 (51.3%)	45,658 (49.3%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率) %	8,216 (12.4%)	9,959 (14.1%)	10,056 (12.9%)	11,121 (13.0%)	11,867 (12.8%)	12,500 (13.2%)
営業利益 (営業利益率) %	7,613 (11.5%)	6,942 (9.8%)	8,517 (10.9%)	13,139 (15.4%)	15,645 (16.9%)	15,700 (16.5%)
経常利益 (経常利益率) %	7,615 (11.5%)	7,328 (10.4%)	9,463 (12.1%)	14,580 (17.1%)	16,729 (18.1%)	16,700 (17.6%)
当期純利益 (当期純利益率) %	4,697 (7.1%)	3,776 (5.4%)	4,041 (5.2%)	9,472 (11.1%)	10,732 (11.6%)	10,400 (10.9%)
一株当たり当期利益(円)	63.25円	50.85円	54.42円	127.54円	144.51円	
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	
総資産	106,042	104,910	108,522	119,822	122,661	
株主資本	85,706	86,140	89,328	95,384	95,719	
純資産	86,797	86,792	88,470	95,505	95,573	
一株当たり純資産(円)	1,168.71円	1,168.63円	1,191.24円	1,285.95円	1,286.87円	
自己資本利益率 %	5.2%	4.4%	4.6%	10.3%	11.2%	
自己資本比率 %	81.9%	82.7%	81.5%	79.7%	77.9%	
人員(人)	1,488人	1,517人	1,716人	1,724人	1,804人	
設備投資	1,322	1,350	969	1,051	1,019	1,700
減価償却費	3,997	3,844	3,042	2,198	1,968	2,000